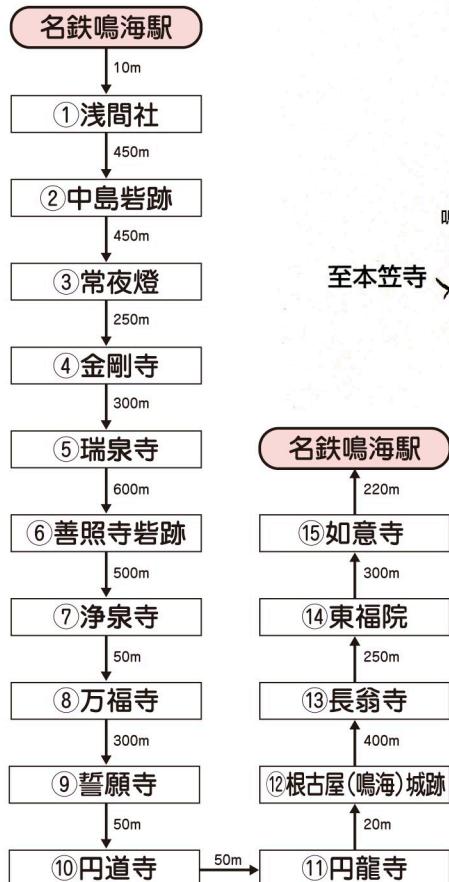


史跡散策路 鳴海宿コース

緑区

コース順路 (全長約4.2km)



コースガイド

①浅間社 (せんげんしゃ)

祭神は木花開耶姫命。元文2年(1737)に鳴海八幡宮の御旅所となった。

②中島砦跡 (なかじまとりであと)

永禄2年(1559)に織田信長が今川義元の侵攻に備えて築いた砦。永禄3年(1560)の桶狭間合戦では梶川平左衛門尉一秀を守将として今川勢と戦った。

④金剛寺 (こんごうじ)

曹洞宗、宝暦10年(1760)創建。開山は呑舟和尚。本尊が行者菩薩像であることから行者堂ともいわれていた。

⑤瑞泉寺 (ずいせんじ)

曹洞宗、応永3年(1396)創建。開基は安原宗範。開山は大徹禪師。はじめは、瑞松寺といった。(昭和32年県指定文化財)

⑥善照寺砦跡 (ぜんしょうじとりであと)

永禄2年(1559)織田信長が築いた砦。今川の将岡部氏の守る根古屋(鳴海)城に対するもので、信長が桶狭間の奇襲に移る直前、ここに兵を集めした。

⑦浄泉寺 (じょうせんじ)

浄土真宗、永享4年(1432)森山左近三郎吉勝(浄空)の開基。本尊は阿弥陀如来像。

⑧万福寺 (まんぷくじ)

浄土真宗、永享年間(1429~41)三井右近大夫高行の創建。

⑨誓願寺 (せいがんじ) (弘法大師第2番札所)

淨土宗、天正元年(1573)僧俊空の開山。本尊は阿弥陀仏、千代倉家の菩提寺。

[芭蕉供養塔]元禄7年(1694)10月に芭蕉が亡くなった翌月の命日に如意寺に建立、その後に移された。芭蕉の供養塔としては最古のもの(昭和52年市指定文化財)

[芭蕉堂]安政年間(1854~59)に永井士前始めその門人が建立。芭蕉手植えの杉の古木で彫刻した芭蕉像が安置されている。



⑩円道寺 (えんどうじ)

曹洞宗、天正年間(1573~92)創建。仁甫良義和尚開山。本尊は青面金剛明王(庚申)。当初は猿堂寺であったが、後に地蔵堂、庚申堂、円道寺と変わった。

⑪円龍寺 (えんりゅうじ)

浄土真宗、嘉慶年間(1236)に平重盛の孫、神戸藏人吉定が出家して守護。本尊は阿弥陀如来像。当初は天台宗善照寺といった。

⑫根古屋 (鳴海) 城跡 (ねこや (なるみ) じょうあと)

応永年間(1394~1427)安原宗範の居城。永禄年間(1558~69)に今川の将岡部五郎衛門元信がこの城を守り、桶狭間合戦の際勇名を轟かせた。その後信長の臣佐久間信盛、正勝が居城し、天正末期に廃城となった。

⑬長翁寺 (ちょうおうじ) (東海49薬師靈場第34番札所)

曹洞宗、天正10年(1582)海雄圭禪和尚の開山。本尊は釈迦牟尼佛。当初は鳴海町字薬師山にあった。

⑭東福院 (とうふくいん)

真言宗、寛永年間(1624~43)に盛辨の開基。本尊は大日如来像。

⑮如意寺 (によいじ)

曹洞宗、康平2年(1059)称雲道開の開基。本尊は地蔵菩薩(尾張国6地蔵第4番)。

